

工事店様用

# 2MPMCF 全量買取向け エコめがね モバイルパックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ> [太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

# パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加エマニュアル

Huawei 製 パワーコンディショナ 及び

「SmartLogger1000」併設用 Ver2.0

SV センサ設定ツール 設定内容				
<pcs メーカ=""></pcs>	Huawei(SmartLogger)			
<pcs 型式=""></pcs>	[SUN2000-8-28KTL (8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)]			
対象型式:	SUN2000-17KTL			
SUN2000-8KTL	SUN2000-20KTL			
SUN2000-10KTL	SUN2000-23KTL			
SUN2000-12KTL	SUN2000-24.5KTL			
SUN2000-15KTL	SUN2000-28KTL			

<注意>

本マニュアルは、SmartLogger1000 を併設してのご利用を前提としております。

また、パワーコンディショナに関してはファームウェアが「V100R001C81SPC109」以降のものであること を確認する必要があります。「V100R001C81SPC108」以前のファームウェアでは、モバイルパックマルチコ ネクトをご利用いただけません。

※「V100R001C81SPC108」以前のファームウェアである場合、アップグレードを行うことで対応可能となります。アップグレード方法の詳細については、パワーコンディショナの製造元にお問い合わせください。

#### 注意事項

パワーコンディショナ、SmartLogger についての詳細な手順は、パワーコンディショナ、 SmartLogger 付属のメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂など によりメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの 内容と異なる場合は、メーカ側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、SmartLogger 等の周辺機器の故障や異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

#### 1.目的

エコめがねモバイルパックマルチコネクト(以下 モバイルパックMC)をご利用いただくにあたって、「SmartLogger - SV センサ間通信ケーブル」を作成・施工いただく手順を記載しています。

# 2.システム構成

以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

SmartLogger1000 を使用しない場合は、機器構成、準備物、設定等が異なりますのでご注意くだ さい。

※型式によってパワーコンディショナの接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認く ださい。https://www.eco-megane.jp/mc\_pcs/

#### ●SmartLogger1000の併設あり、SUN2000-24.5KTL2台接続時 構成例



# 3.SmartLogger-SV センサ間通信ケーブルの用意

#### 3-1.準備部材

#### ●部材

部材名	サイズ・規格	数量
屋外用シールドネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上、ストレート	1本

#### <参考>

#### パワーコンディショナ間通信ケーブル、パワーコンディショナ-SmartLogger 間通信ケーブルの 部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブル、パワーコンディショナ-SmartLogger 間通信ケーブルに 必要な部材については以下に記載します。

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
屋外用シールドネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上、ストレート	(PCS 台数)本

#### <注意>

# 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

項目 3-1 で準備したケーブルで、モバイルパックMC内のHUBの空きポートとSmartLogger1000のFEポートを接続してください。

#### 4.ケーブルの取付け方法

●接続イメージ図

モバイルパック MC



# 4.ケーブルの取付け方法(つづき)

#### ●ケーブル取付け全体図

(通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めします)

モバイルパックMC



# <参考>パワーコンディショナ – SmartLogger 間通信ケーブルの結線について

パワーコンディショナ – SmartLogger 間通信ケーブルの接続については、パワーコンディショナ、SmartLogger1000の施工・保守マニュアル等もご確認ください。

#### ●結線対応表

SmartLogger1000	屋外用シールド				
COM1ポート	ネットワークケーブル				
信号名	配線色※	機能			
+	1 (白/橙)	差動信号+			
_	2 (橙)	差動信号 –			

※配線色は B タイプのネットワークケーブルを使用した場合です。

## 5.その他

#### 5-1.パワーコンディショナのファームウェアバージョンの確認

パワーコンディショナに同梱されているユーザーマニュアルに従って、パワーコンディショナのファームウェアバージョンを確認してください。

ファームウェアのバージョンは、パワーコンディショナの LCD もしくは SmartLogger にて確認す ることが出来ます。

モバイルパックマルチコネクトが対応可能かどうかについては、パワーコンディショナのファーム ウェアバージョン(英数字)の"SPC"前の数字2桁と末尾数字3桁で確認することが出来ます。

#### V100R001C81SPC109

□→ バージョン情報 2
 → バージョン情報 1

バージョン情報 1… 数字 2 桁。ファームウェアにて大規模の更新がされると加算される。 バージョン情報 2… 数字 3 桁。ファームウェアにて小規模の更新がされると加算される。 また、バージョン 1 の数字が加算された場合は 000 にリセットされる。

#### ●V100R001C81SPC109以降の場合:

⇒モバイルパックマルチコネクトで対応可能です。 そのまま「5-2. 終端抵抗の設定」に進んでください。

#### ●V100R001C81SPC108以前の場合:

⇒パワーコンディショナのファームウェアアップグレードが必要です。 アップグレードの方法については、パワーコンディショナの製造元にお問い合わせいただき、 最新のファームウェアにアップグレードしてください。 アップグレード後、「5-2.終端抵抗の設定」に進んでください。

例:

「V100R001C**81**SPC**112**」、「V100R001C**82**SPC**002**」 ⇒**対応可能** 「V100R001C**80**SPC**120**」、「V100R001C**81**SPC**108**」 ⇒アップグレードが必要

# 5.その他(つづき)

## 5-2.終端抵抗の設定

パワーコンディショナの整合抵抗を設定してください。

#### ●パワーコンディショナ:

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの整合抵抗を「接続」(ON)に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの整合抵抗は、「切断」(OFF)に設定してください。 具体的な整合抵抗の設定方法については、パワーコンディショナのユーザーマニュアルを参照して ください。

#### ●モバイルパック MC、SmartLogger1000:

終端抵抗の設定変更は必要ありません。

#### ●終端抵抗・整合抵抗の設定



# 5.その他(つづき)

## 5-3.アドレス(局番)の設定

パワーコンディショナのユーザーマニュアルに従い、パワーコンディショナのアドレス(局番)を 1~9の範囲で設定してください。

#### 5-4.SmartLogger1000の通信設定(ネットワーク設定)

SmartLogger1000の施工・保守マニュアル等に従い、ネットワーク設定作業(以下の①、②)を実施してください。

- SmartLogger1000の初期化パラメータの設定
   ※初回電源投入直後の設定方法を以下に記載します。既に一度初期設定を行われた場合は、ユーザーマニュアルに従って該当する項目の設定を行ってください。
  - 1. SmartLogger1000の起動
  - 2. 表示言語を「日本語」で選択する。
  - 3. 日付と時刻を設定する。
  - 4. イーサネットパラメータを設定する。
  - パラメータは以下で設定する。 IPアドレス:**192.168.1.20** サブネットマスク:**255.255.255.0** ゲートウェイ:**192.168.1.1** DNS-1:**8.8.8.8** DNS-2:**8.8.4.4**
  - RS485検索アドレス・セグメントを設定する。
     ※RS485-1のアドレス・セグメントの範囲が、パワーコンディショナで設定したアドレス 範囲となるように設定してください。
     例:001-010
  - 6. デバイスの検索を実施する。
- ② SmartLogger1000の設定変更(つづき) ※①に続いて設定してください。
  - 1. メインメニューで「設定」を選択し、上級ユーザでログインする。
  - 2. 「一般設定」を選択する。
  - 3. 「Modbus TCP」を選択する。
  - 4. クライアント1に、IPアドレス「192.168.1.1」を設定する。
  - 5. アドレスモードを「物理アドレス」に設定する。

#